

令和4年度第4回国分寺市青少年問題協議会

日 時：令和4年10月5日（水） 午後2時～4時

場 所：国分寺市役所 書庫棟会議室

出席委員：宮田万利子（会長），成瀬大輔（副会長），中村俊雄，田中久美子，彌永大介，薄井芳典，青木伸道，辻川幸広，坂井由利子

事務局：子ども家庭部子ども若者計画課（千葉課長・城内係長・山根・井手）

傍聴者：1名

会 長：皆様、こんにちは。定刻になりましたので、これから国分寺市青少年問題協議会を開催させていただきたいと思っております。

協議会を開催するに当たり、本日の協議会の成立と資料について、事務局から報告をお願いいたします。

事務局：本日の協議会の成立について、ご報告いたします。委員11名中、現在、出席委員が7名、欠席委員が4名です。よって、委員の過半数に出席がございますので、国分寺市青少年問題協議会条例第5条の規定により、本日の会議が成立することを確認いたしました。

また、本日の会議資料については、次第が1枚、資料がポスターのカラー刷りでA4を3枚、お配りさせていただいております。資料1から3になっております。過不足はございませんでしょうか。

会議成立及び資料の確認は以上になります。

会 長：ありがとうございます。

それでは、開催の確認ができましたので、これより令和4年度第4回国分寺市青少年問題協議会を開催いたします。

本日の協議事項は1点で、今期の成果物について話し合っていきたいと思っております。

前回の会議で、今期の成果物はポスターということになりまして、ポスターの内容について、前回は皆さんでいろいろと検討いたしました。それを基に事務局のほうで3点、ポスター案を作成していただきました。ありがとうございます。これを一応、たたき台にしまして、今期の成果物としてどういったポスターにするかを皆さんで話し合っていきたいと思っておりますので、どうぞご協力お願いいたします。事務局のほうから何かありますでしょうか。

事務局：本日欠席の委員の方からポスター案についてご意見を頂いておりますので、事務局のほうから預かったご意見をお伝えさせていただければと思います。

まず、一人目の委員から頂いたご意見になります。ポスターの案についてですが、個人的には資料1が良いということでご意見を頂いております。資料1

を選んだ理由が3点ありまして、1点目は、標語がカラーでしっかり力強く書かれていること。それにより遠くからでも見やすくよいと思ったというのが1点目の理由です。2点目が、人物の線がはっきりしていて、親しみやすい絵であるということ。3点目が、QRコードの種別が色分けされているということ。この3点の理由から資料1をご推薦ということですが、協議会の中での話に合わせ最終判断は本日出席の委員の皆さんにお任せします。というご意見を承っております。

それから、二人目の委員からもご意見頂いておりますので、報告させていただきます。こちらの委員も3案の中では、委員と同じ資料1が良いというご意見を頂いております。資料3のQRコードが見やすく目を引くという点でこの部分は良いと感じているが、1つ選ぶのであれば資料1を選択しますとのこと。こちらの委員からも、最終的には本日の協議会の皆様のご意見にお任せしますということで、2名の委員からご意見頂いております。

会長：ありがとうございます。今日欠席の委員にご意見頂いております。ポスター案を見た限りでは、前回、委員が頑張ってくださったレイアウトとか、あと、それと皆さんの意見もたくさん入っていて、とてもいいポスターになってきたのではないかなと思います。ただ、レイアウトがそれぞれ違いますので、皆さんにその辺はやはり個々にご意見があると思いますので、伺っていきたくと思いますが、いかがでしょうか。

委員：皆さん、お疲れさまです。本当にすてきなデザインありがとうございます。私も、実は資料1がいいかなと思っています。その上で、少し細かい点になるのですが、パッと見たときに、キャッチコピーと絵が少し近くて、もう気持ち離れているとより見やすいかなと思うのです。絵とキャッチコピーの間のところもう少し空いているとより見やすいかなというのが1点です。

個人的には、これは絶対入れてくださいということではないのですが、心がテーマなので、ハートマークをどこかに入れたい。これは個人的な意見です。

もう1つは、QR、これすごく見やすくいいと思うのですが、QRを読めない人もいるかなと思うので、何かウェブのURLを下に追記したらどうかと思うのです。もちろんQRで読めるのですが、大体こういうのはQRとURLも記載していることが多いかと思ったりするので、その辺少し皆さんにお伺いしたいなと思います。以上です。

会長：ありがとうございます。ほかにご意見ありますか。

委員：今の青少年問題協議会の委員というのは12名ですか。さっき事務局が言われたのは、11人でしたが。

会長：はい、11名ですね。

委員：これ、11人と書いてありますね、下は。

事務局：すみません、修正します。

委員：ここ合わせてください。

事務局：はい。

委員：私も何か一番最初、この資料1を見て、家族がいて、それと赤ちゃんまでに入っていますし、ワンちゃんもいますし、みんながニコニコして一緒に、遠くからでもパッと分かるのですよね。ほかのやつはそこまでパッと分からないという点がありますし、それから、みんなの顔が1人1人、ワンちゃんの顔までははっきり分かりますから、親しみをもって皆さんに見ていただけるのではないかなという気がします。

会長：ありがとうございます。ほかにありますか。

委員：すみません、前回、所用で出席できなく申し訳ございませんでした。そんな中で、メールで送られてきたときのデータを見たという意味では、やはり資料1というのは一番スッと入ってくるなという感じは受けました。やはり何をメッセージとして挙げているかというのは、やはり見やすいということで、ほかの案はメッセージ的なところは読みづらいのかなということで、一番入ってくるのは資料1かなと思いますので、先ほどの委員が言われた、もう少し余白だとか、そういうのは別にしましても、メッセージ的に言うと、こういう字体のほうははっきりすると思いました。あと、それぞれ誰に対してのQRコードかというのが色分けされていて、3案の中では一番、資料1がいいのかなという感じがしているところです。

会長：ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか、ご意見。

委員：資料作成ありがとうございます。僕も資料1がいいと思っています。色味がついているのが見やすく、目につくという点。ただ、先ほどの委員と同じで、QRの配置的には資料3のほうがいいかなとは思うのです。ただ、ポスターというものの性質を考えると、1番の色をたくさん使ってというのがいいかなと思います。ただ、「地域の皆さんへ」の下の「子育て制度はこちら」というところ、この「子育て制度」というのがあまり引かからないかなというのがあります。この文言についてはみんなで考えたらいいいのかなと思います。以上です。

会長：ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。何かございますか。

委員：言葉としては、「地域でやさしく育てよう 子どもの心」ですよね。ここに「やさしく」が資料2、資料3ですと、小さく書いてあるので、きちんと「地域でやさしく育てよう 子どもの心」、この「やさしく」という言葉は結構大事だなと思うので、資料1がいいかなと思います。

委員：すみません、先ほどもあったのですけれども、「地域のみなさんへ」の制度のところは私も少し気になっています。ここからどういう内容に飛ぶかということにもよるのですが、地域の皆さんがどういう情報を取れるのかなというのを

もう少し分かる言葉だといいいかなと思います。「制度」というのは多分いろいろあるので、もう少し具体的な言葉にできると良いのかと思います。短く言っているのだと思うのですけれども。「子育て情報」は何となく分かるのですけれども、「子育て制度」といったときに、地域の皆さんが何をするための制度なのか、もしくは、地域の皆さんがどんな活動をする際に、どういうふうに関立つ情報なのかというのがもう少し見えるといいかなと思うのですね。

会 長：そうですね。子育て制度という言い方だと。

委 員：ただ、あえてここ分かりやすく大きく捉えて書いていただいていると思うのですけれども。

会 長：そうですね。

委 員：上のところで「子育てを支えつくれる制度も」というのも、何を作るのかというのが、少し。

委 員：そうですね。

委 員：「支えてくれる」ですね。

委 員：支えてくれる。

委 員：「支えて」だから。「て」が「つ」になってしまっている。

委 員：子育てを支えてくれる制度を知りたいのは子育て中の人かもしれないですね。

委 員：そうそう。だから、地域の皆さんの視点でいったときに、「子育てをサポートできる」とか。

委 員：「子どもを見守る」とかいうのはどうですか。

委 員：どんな内容に飛ぶかによるかと思うのですけれども。

事務局：前回、皆さんに考えていただいた貼付するQRについてなのですが、この「地域のみなさんへ」というところは、居場所のハンドブック。子育て中のところはホッとおれんじ国分寺の先に飛ぶようにということでしたので、実際のQRを貼付しております。また、「子どものみなさんへ」については、こそでんという事業が子家センの事業であるのですが、そちらのページにつながるQRを貼付しております。ただ、先日学校指導課と少し協議しまして、例えば「いじめ 110 番」など、その他いろいろな子ども自身が何かあったときにかけられる連絡先一覧の冊子みたいなものを学校ではお配りしているようにして、それをホームページに、今後まとめなくてはいけないという課題を学校指導課のほうも考えているということでした。10 月中ぐらいを目安にページを作ってくれるという話が今、出てきています。もしそのページが出来上がりましたら、そちらのページに飛ぶように差し換えて、次回、最終回には間に合うようにはお示しできたらと考えています。なので、今、協議されている「子育て制度はこちら！」というところは、居場所づくりハンドブックのページにつながりますので、この文言などについてもご確認いただければと思います。

会 長：ありがとうございます。一応、今のお話で子育て制度というのが私も少し気に

はなつたのですが、その前に、一応、ポスター案、どれにするかを先に、レイアウト的なものを決めてしまったほうがいいかなと思いますので、他にご意見いかがでしょうか。

委員：すみません、2回休ませていただいて、コロナなどありまして、失礼しました。

記録などは読ませていただいていると思うのですが、資料1ですか。これは文字のフォントがとがっていますね。なぜとがらなければいけないのかなと。こういうフォントでということでの、見た人に訴える力は強いのかもしれないけれども、中身を考えたとき、とがってはいけないのではないかなというのが私の感想です。パッと見たときは資料1の力が強いというのは確かにそのとおりなのですが、資料2はとても品がいいなと思いますね。品のよさというものは資料1にはない。それは、子どもの皆さん困ったとき、地域の皆さん、子育て制度がこうありますよ。子育て中の皆さんに子育て情報をどうぞという内容だと考えると、これを見てほしい人たちは、ある意味、強い人たちではないのではないかなと。元気たっぷりで強い人たちに見てほしいのではないのだとしたら、あまり強くないほうがいいのかなというところで私は資料2です。

会長：ありがとうございます。大体資料1の方が多いのですが、今のご意見で、字がとがっているということで、優しくということを考えて、もう少し丸みを持った字のほうがいいかなというご意見。あとは、その後のご意見で、本当に困っているというか、こういう情報が欲しい人たちにそういう情報が行くかどうかというご意見なのですけれども、皆さん、どうでしょう。

委員：私も、字体を優しくするというのは賛成で、今の資料1が悪いとは思わないのですけれども、おっしゃるとおり、心という、かなり敏感というか、繊細なテーマを扱うこともありますし、今おっしゃったように、これを読んで情報を取る方というのは、やはり少し困っていたりする方だと思うので、優しさを取り入れたフォントに少し更新するというか、そこについては賛成です。ただ、全体のパッと見たときの見やすさという意味では、僕は資料1のほうがいいかなと思うのです。イラストも少し大きめで見やすいとか、そういう意味では僕は資料1なのですけれども、字体の優しさというところと、あと、もしかしたらQRのところの、細かい話ですよ。例えば枠も少し色づけして、よりQRも、もう少し目が行くようにするというのはありかなと思います。

会長：ありがとうございます。いかがでしょうか。

委員：実際のポスターの紙の色はどういう色なのですか。白でもいろいろな白がありますね。今、少し黄みがかかった白に見えるのですけれども、実際のポスターというのはどんな紙なのですか。

事務局：そうですね。今日これは市役所の紙で、カラー印刷してあるので、少し色味がついてしまっているのですけれども、実際は白色のマットコート紙を想定しております。

委員：では、もう本当に白という感じですね。

事務局：そうですね。一般的に貼られているようなポスターの白色をイメージしてもらえればと思います。

委員：去年のフワッとしたピンクの、すごくソフトな感じのポスターでしたよね。あれからこれというのはすごく飛んでいるかもしれないという気はします。とてもソフトできれいだったから。

会長：色が良かったですね。

委員：前回の色で見せるのか、イラストで見せるかによると思います。だから、これはイラストとかキャッチコピーを立たせているから、背景は白にしている。だから、資料1に純粹に色を足していくと、多分要素が増えてごちゃごちゃに見えてくるから。だから、少し柔らかい。

会長：そのほうがいいかもしれない気がしてきました。

委員：色味は足してもいいかもしれないですね。白ではなくてもいいかもしれないですね。

会長：ほかにいかがでしょうか。去年はそれこそ白地にピンクの文字で、ハートのイメージで、イメージ的には何となく柔らかいイメージがあったと思うのですけれども。

委員：単純な話なのですけれども、これ今、オレンジが多いではないですか。オレンジというのは、どちらかという、元気いっぱいという色なので、例えば、もし資料1で行くならば、まずこれ、どの案にするか決めた上になりますけれども、洋服の色をピンク系にしてもいいのではないかと思います。例えばですが、ただ、あまり色数が増えてしまうとごちゃごちゃ見えてしまうので。

会長：そうですね。

委員：多分、これ全体の色数とかバランスを考えて今オレンジにしてもらっていると思うのですけれども。

会長：そうですね。

委員：だから、例えばこの今オレンジのところを薄いピンクにしてみるというのも、文字が浮くという効果はあるかなと思いますけれどもね。ただ、ピンクにするとう優しくはなるのですが、オレンジのほうがパッと目に入るのです。

会長：そうですね。

委員：比較して、最終的に決めてもいいかもしれないですね。

委員：下の帯のところですね。ここをちょっと変えるかですね。黄色っぽいですね。資料2、資料3の黄色っぽい色に変えるかどうかですね。下の帯の部分はやはり少し嫌な感じがしますよね。

会長：濃い感じになりますかね。

委員：下の帯部分は色なくてもいいかもしれないですね。特にここは積極的には見せようとするところではないのかなと。そこは少し細かい話ですけれどもね。どち

らかというと、イラストとキャッチコピーとQRをきちんと見せようとする、帯に強い色が来ているので。でも、まずはどの案にするか決めてからですけれども。

会長：そうですね。一応、今のところご意見として、「地域でやさしく育てる子どもの心」という字体を丸くするというか、優しい感じにするというご意見。あとはQRコードのところももう一工夫ですね。ということで、そういう形にして、いかがでしょうか。

委員：寄り添うという言葉は、正面に立つのではなく、横に立とうとする。困っている人の横に立とうとするのはどちらかなということです。皆さんがそうおっしゃるようであれば、資料1でもって決定されるのもそれはそれです。ただ、あまりとがっているのだけは、とがったフォントだけはよしたほうがいいかなとは思っています。

委員：となると、このQRコードの字体も、子ども、地域、子育ても丸くなるという形になるのですよね、これ。上に合わせると。

会長：枠ではなくて。

委員：この字体ですね。字体も丸くなるということですね。

会長：そうですね。そちらの字体もですね。

委員：多分、その資料2のそういう品格のある優しい印象をちょっと資料1に取り入れるというか、資料1のとがった感じを少し優しくして。

会長：そうですね。確かに資料2はそんな感じしますね。なので、例えばですけれども、オレンジの色をそのまま資料2の色にしてみるとか。

委員：薄くするということですか。

会長：黄色を濃くする。

委員：資料2の色は、個人的な意見ですけれども、色が少しあせた感じに僕には見えるのです。少し色が抜けてしまったような印象に僕は見えるので。

会長：となると、やはりオレンジのほうが。

委員：オレンジにするか、優しくするのだったら、ピンクにするか、かなとは思いますが、いろいろ見る人によって変わると思うのですけれども、少しこれは薄い黄色というのが、色的には。

会長：貼ってある古いポスターみたい。

委員：そうそう、何か色が抜けてしまった昔のポスター的に見かねないかなということと、工事現場の黒とオレンジのように僕は見えるのですね。だから、少しやはりカラフルな印象があったほうがいいかなと思うのですけれども、これは主観なので、難しいのですけれども。ただ、資料1をもう少し優しくするというのはいいと思います。

会長：そうですね。

委員：多分、例えば資料1を軸に決めて、そこから優しくする方法はいろいろあって、

多分、細かい手法はデザイナーさんに任せれば良いと思うので。

会 長：分かりました。では、一応、資料1ということで、これをいろいろと皆さんとご意見言って、修正していきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

委員一同：（賛成）

会 長：では、まず、色などはどうでしょうか。この部分、「地域で育てよう子どもの心」の中の色とかは、この色で大丈夫でしょうか。

委 員：何か少しこの案を作成した意図を聞いてみませんか。この色いいよではなくて、この色にしたかった意図があるのか。どうですか。

事 務 局：資料1についてですが、少しとがったフォントというご意見があったのですけれども、こちらは今トレンドになっているフォントになります。キリギリスフォントというものなのですが、お菓子とかいろいろなポスターや雑誌などで使われているフォントです。子どもたちの目が行くように、少しユニークな感じで、インパクトを持たせたイメージになっています。イメージなのですが、これもパッと目に入るように、赤だと強すぎるし、ピンクだと少し弱いかなどというところでオレンジを選びました。先ほどレイアウトで、QRがピンクや黄色のほうが見やすいという意見があったのですが、こちらの資料1のイラストで、タイトルは今のまま、このレイアウトでイラストを、資料1のほうを使うということも可能ですので、皆さんのご意見をまとめた上で、全てをミックスした感じをまとめていただけたらいいかなと思いました。

特に黄色を使ったというのは、注意を引きたいからという意味なのですが、少し印刷、市役所のプリンターだと黄ばんで出てしまうので、モニターではもっとくっきりとした黄色になるのですけれども、少し黄ばんで見えてしまっています。なので、これも、あまり色を使いすぎるとごちゃごちゃしてしまうというのもあったり、JTさんとか、ああいうすっきりとしたイメージの広告とかを少しイメージして作ったので、1色、2色だけ使ってシンプルを意識したデザインにしました。

ただ、こういったポスターですと、子どもの目を引くという点で考えると、少しどうかなど。学校などに張られていたら、あまり子どもには関係ないのかなと思って、通り過ぎてしまうようなポスターなので、私も、資料1のほうが子どもには目が行くかなと思っています。

私の作品ではなく、皆さんの意見が詰まったポスターにしたいので、その辺は皆さんの意見を取り入れた形でできたらと考えておりますので、引き続きご検討をよろしくお願いします。

会 長：ありがとうございます。トレンドのフォントだというのは知りませんでした。そういう文字だったのですね。

委 員：確かに子どもの目は引きそうな気がしますよね。

会 長：そうですね。

委員：子どもたちの本は大体こういう感じですか。お子さんの雑誌は大体こういう感じですか。

事務局：お菓子のパッケージなどはこのキリギリスフォントが最近、ここ数年よく使われているので、トレンドにはなっているのですけれども、そういうので何か少し子ども受けするかなというところで選びました。あと、若い方にも。でも、しっかり言葉を伝えたいというと、資料2と3のほうで、ちゃんと伝えているよという、すっきりとしたイメージが伝わるかなと思いますけれども。

会長：ありがとうございます。色遣いもオレンジとかのほうでパッと、貼ってあったときに目につくかなと思います。

委員：これが悪いということではないですけれども、多分フォントを変えるだけでも印象が変わるので。

会長：変わりますね。

委員：ちょっと色を変えたとすると、結構やってみないと分からないと思うので、それはそれで案は出してもらってもいいかもしれないですけれども、少しこの場で色を変えるというのは、なかなかイメージがつきにくいと思うので。

会長：では、これはこれで残しておいて、少し丸い優しい感じのフォントというのを考えていただければいいかなと思います。あと、色のほうも、どうですか。ピンクを見てみたいですか。どうですかね。

委員：専門家からの意見を聞くとデザインの難しさがありますよね。

会長：そうですね。

委員：我々少し、確かにバイアスがかかっているか分かりませんからね。おっしゃった、さっきのお話聞いたら、そういうものかなということで、自分は分からないものですから、若い人とかお子さんとか、こういうのが流行っているというのは勉強になりましたね。

会長：そうですね。では、資料1の上の部分の表題とイラストについては取りあえずこんな感じでよろしいですかね。

委員：念のため丸みを帯びたフォントとかを作っていて、パッと見て、本当にどちらがどうかというのをね。

会長：そうですね。

委員：見せていただいたらありがたいですね。

会長：すみません、では事務局で作っていただけますか。

委員：すみません、お手数おかけしますが、よろしくお願いします。

会長：お願いします。

委員：これは1つのキャッチフレーズでフォントというのは変えられるのですかね。フォントはそれぞれ変えられるのですかね。

事務局：変えられますが、あまり変え過ぎると、どれが一番、強調しているのかとか、見づらくなってしまいかもかもしれませんが。

委員：若い人に受けるというのが気になってですね。我々は確かにとがっているという意見ですけれども、若い人はこれを受け入れられる方は、これはこれでありかなと思うのですよね。

会長：あと、先ほど委員がおっしゃったこの表題とイラストの間をもう少し間隔とおっしゃっていましたが。

委員：そうですね、もう少し、気持ち空けると。

会長：気持ちですか。気持ち少し空ける。表題とイラストの間です。それを気持ち空けて。

委員：今ここから資料1を見ていると、字が埋もれてしまっている感じなのですよね。

委員：少しぎっしり。

委員：絵が、絵なのか字なのか分からない気がするのです。

委員：もう少し字は字でパッと目に入って。

委員：もう少し絵が小さくてもいいかもしれない。

委員：気持ちイラスト小さくしてもいいかもしれないですけれども。

会長：見やすさでいくと、資料2のほうが見やすい。

委員：資料2は圧倒的にキャッチコピーが見やすいと思う。ただ、イラストが少し目に入らないかなという気はするのですけれども。

事務局：では、資料1のイラストを資料2に入れてみますか。というパターンも。

委員：いや、レイアウト的には資料1がきれいなので。

会長：イラストをもう少しやる感じ。

委員：小さくするとか、少しだけ。

会長：少しだけ。

委員：イラストを小さくするのか、少し離すのか。

委員：もう少し上のスペースを使って変えていただくとか、色も少し考えていただいたら。

事務局：あと、この人数も減らすことも可能です。

委員：個人的には多いほうが好きなのですけれども。

会長：何かやはりいっぱいね。

委員：そう。みんなで何か支えている感じがいいかなと。

会長：ありますね。

委員：基本的にはいいと思うのですけれどもね。

委員：これぐらいいたほうが賑やかでいいですね。

委員：キャッチコピーとイラストの見やすさを少し上げるというか。

委員：この資料3の下の方にある、「スマホで読み込んで国分寺市の子育て情報や支援などを見てみよう！」というこの文言はいらぬかなと思う。QRコードはもうみんな知っているからいいかという。

委員：多分、そうですね。

- 委員：資料3の右下のQRコードのところに指がついているのは、何かあれですかね。QRコードに指がついているというのは、こちらです。という意味ですよ。
- 事務局：スマホで読み取ってくださいという。
- 委員：昔だとURLに指がついているというのが一般的かなという気がしたので、指がつくというのは。どこかにURLを入れていただいてもいいかもしれない。
- 会長：では、上の部分はそういう感じで改めて修正入れていただければと思います。あと、下の「子どものみなさんへ」、「地域のみなさんへ」、「子育て中のみなさんへ」のところを、皆さんで確認していきたいと思うのですが。
- 委員：さっきの話だと、「地域のみなさんへ」のところは、居場所づくりにつながるQRなのですよ。
- 会長：制度ではなくてね。
- 委員：「子育て中のみなさんへ」のところの「子育て情報につなげる」がいいと思うのですけれども、これを見た保護者さんに、「ご自身の健康・元気を大切にされてください」という文言と、QRで読んだ先のコンテンツが合っているかなというのは少し気になりますね。この文章が駄目というわけではないのですけれども。
- 委員：今これ、どういうコンテンツにつながるのですか。
- 事務局：もう一度ご説明させていただきますと、「子どものみなさんへ」というのは、今はこそでんにつながるようになっていきますけれども、学校指導課が新しいページを作成していただきましたら、「いじめ110番」など子どもがかける連絡先が載っている一覧のページにつながるようにしたいと思います。
- 「地域のみなさんへ」については、居場所づくりハンドブックのページにつながります。それから「子育て中のみなさんへ」は、ホッとおれんじ国分寺につながる形で前回ご意見を頂いておりましたので、そのとおりに作ってあります。
- 会長：子育て中はホッとおれんじ。
- 事務局：そうですね。子育て情報はこちらのほうでは、ホッとおれんじの紹介ページになっています。
- 委員：ホッとおれんじはいろいろな内容が入っていますよね。健康・元気というと、どちらかというと、心と体のケア的な内容に飛ぶ感じがするので、子育てに役立ついろいろな情報がこちらから見られます的な。
- 委員：短い言葉でそういうのを。
- 会長：そうですね。
- 委員：つながる先の内容と、この文言が合っていることが多分大事で、その文章を読んだ人たちがちょっと見てみようかしらというのが多分必要なので。多分、健康・元気の情報もちろん入っていると思うのですけれども。
- 委員：子育て中のところだけ一文で訴えているのですが、ほかのところは、例えば「周りのみなさんがあなたの味方です」とか、「子育てを支えてくれる制度も

たくさんあります」とか、文章は2つになっていて、どういうのが基本として見てくださいね、支え合っていきましょうという文章の作りになっているので、「お子さんの健やかな成長を支える制度です」とかいう切り口にして、ご自身の健康も大切になさってくださいねと、2つに分けるというのも方法かなと思います。

会 長：文章を2つにするということですね。ほかのところもそうなので。

委 員：1つは何をやっているかで、1つはみんなに訴える文章。そこまで注意して読む人はあまりいないと思うのですけれども。

委 員：文言というのは具体的に決めたほうがいいですか。

事務局：はい。ここは皆さんの思いが一番強いところだと思いますので。イラストとかイメージはこちらである程度パターンを示して判断していただく必要があるところかと思うのですけれども、言葉は皆さんに、テーマと同じようにブレないものを決めていただいたほうがよいかと思います。決めていただきたい言葉についてお伝えしようと、資料1の一番下に「地域でやさしく育てよう」というオレンジ色の帯があると思うのですが、そこは今ダミー文章で、前回の子育て五句の言葉が入っていますので、またもし載せるのであれば、その言葉もご検討をお願いいたします。いれないという選択をされるのであれば、それはそれなのですけれども、ご判断をお願いいたします。

会 長：一応前回でも、協議会のメッセージをどこかに入れるという話がありましたので、それは、そうしたら、この一番下のところになるかと思いますね。

委 員：そうですね。

会 長：「子育て中」とここの文章を。「子どものみなさんへ」のところの文章は大丈夫でしょうか。大丈夫ですかね。

委 員：何となく3行目の「大人の方」という表現がちょっと仰々しいと言いますか、引かかる感じがします。

委 員：身近な方とか、そういうふうにしたほうがいいのではないですか。下手に大人に頼っても、大人だっていろいろな大人がいますから。話しかけたって小学校のお子さんは知らんぷりしますよね。知らない人から話しかけられても答えてはいけないとなっているからね。大人というのは少し子どもには抵抗ありますよね。身近な方とか、地域の方とかにしたほうがいい。

会 長：では、大人ではなくて、身近な方、地域。

委 員：身近なのか、周りのみんながと言っているから、周りの方を頼ってください、でいいと思います。

会 長：周りでいいですか。

委 員：周りでいいですね。周りのほうがいいかもしれない。

委 員：別になくても、周りのみんながあなたの見方です。困ったときにはいつでも頼ってね、だけだつて。

- 会 長：そのほうがいいですね。「周りのみんながあなたの味方です。困った時などいつでも頼ってくださいね」でいいですか。
- 委 員：いいですね。
- 会 長：では、次の「地域のみなさんへ」ですが、「子育てを支えてくれる制度がたくさんあります。みんなで支え合っていきましょう！」について、いかがでしょうか。
- 委 員：これ、居場所につながる話ですよ。
- 会 長：そうですね。
- 委 員：地域の皆さんに向けて。
- 委 員：居場所づくり、制度というのが少し。
- 会 長：制度というのがね。
- 委 員：地域の方が子どもの居場所を自分で作れるということですか。
- 委 員：居場所があって、そこに子どもがいるのだというのを知ってもらいたいし、関心を持ってもらいたいという趣旨が一番大きいかなと。
- 委 員：「子育てを支えているところも近くにたくさんあります。みんなで支え合っていきましょう」みたいな。
- 委 員：子育てを支える場所がいろいろありますと言ったときに、どちらかという、子育ての方に向けたメッセージになるかなと思っていて、地域の皆さんにと言ったときに、地域の皆さんがどういうメッセージを見ると協力したいと思うのか。その協力というのは何なのかというのが分からない。
- 会 長：地域で子どもを育てようというのだから。
- 委 員：居場所がいろいろあるから、そこに入って手伝ってくださいという感じ。
- 委 員：子どもは周りにいっぱいいますというので、そこへ行ってみましょうという意味なのですよ。子どもの居場所というのはいくつか違うかもしれませんが、子どもの遊び場がいっぱいありますという感じで。
- 委 員：シンプルに、国分寺には子どもの居場所がたくさんあります。みんなで支え合っていきましょう。とかはどうですか。
- 会 長：いいですね。
- 委 員：すみません。「子どものみなさんへ」というところで言っていたことが、それなのではないですか。「地域のみなさんへ」というのが、その地域というところから、子どもになって話が行ってしまっているみたいですが、これは違いますか。「子育てを支えてくれる制度」、子育て支援制度というのは国のもの、都のもの、市のも制度がいっぱいあるのですよというところに誘導しようという問いですよ。
- 事 務 局：地域に対しては違う。
- 委 員：この書き方を見るとそうしか見えない。
- 委 員：今の文章ではそうですね。

事務局：子育てを支える場所というよりかは、子どもの居場所がありますということで、居場所づくりハンドブックにつなげるという表現のほうがいいのではないかとというのが、今お話しいただいたものではありません。

委員：ごめんなさい。そうすると、子育て支援制度のことをここでもって説明していますよという導入ではなくて、地域にこんな集まり方がありますよということを示そうとしている。だったら、ここの言葉は全部やり直しですよ。

委員：そうですね。

事務局：今おっしゃっていただいたように、一番右の「子育て中のみなさんへ」のところが、今おっしゃっていただいた支援制度の紹介になるので、真ん中のところは確かに違うのかなと思いますね。

会長：このQRコード、「地域のみなさんへ」のQRコードを入れると、子どもの居場所ハンドブックにつながっていくので、それにつながるような文章を入れなれないといけない。

委員：それなら、さっき言われたのが、シンプルで一番いいのかなと思いました。

委員：子どもの居場所がたくさんあります。みんなで支え合っていきましょう。居場所を支えていきましょう。みたいな感じですかね。

事務局：もう1回最終確認させていただいていいですか。

委員：国分寺には子どもの居場所がたくさんあります。みんなで支え合っていきましょう。

事務局：ありがとうございます。

委員：この吹き出しのところは、「子どもの居場所に関する情報はこちら」。とか。

委員：詳しい情報とかでもいいですね。

委員：そうですね。上の情報とつなげて。

委員：さすがですね。

会長：「地域のみなさんへ」のところ、それでよろしいでしょうか。
では、次に「子育て中のみなさんへ」はいかがでしょうか。

委員：これはホッとおれんじにつながるところですよ。

会長：そうですね。ホッとおれんじにつながる部分です。

委員：多分、先ほどおっしゃった制度の情報もあるし、それ以外のいろいろな子育てに関する情報も載っているわけですよ。

会長：ホッとおれんじには、「子育てに役立つ情報」と書いてある。

事務局：こちらのポスターにあるQRでつながるページ先には、「市では子育てに役立つ情報をまとめた『子育てガイド（ホッとおれんじ国分寺）』を作成しました」。その後、「『子育てガイド』はテーマ別に子育て支援に関する制度や相談窓口を紹介しています。ぜひご利用ください」というような文言が書かれています。

委員：子育てに役立つ情報がまとめられているというのは、僕はいいかなと思います。

いろいろなところを見なくても、ここを見れば全部網羅されている。

委員：網羅されていて、役立つ情報がここにあるよという感じがいいかなと思いました。

委員：多分、この文は消えるのだろうなと思っているのですけれども、1行目の「健やか」というのは、これはテレビに出るぐらいの難読文字ですよ。使うべきではないと思います。

委員：すみません、どういった意味で使うべきではないと。

委員：つまり、難読文字、読めないと思う字ですよという意味です。人が読めないと思う字を、みんなに見てもらおうとするところでは使わないほうがいいのではないかと思うのです。

委員：すみません、ホッとおれんじというのは、子どもの心というところに関する情報というのは何か入っていますか。

事務局：心に関する情報というと、例えばどんなことですか。

委員：テーマが心なので、多分、何らかあると思うのですけれども。

委員：親世代の悩み相談みたいなこととか。

事務局：どういう支援が受けられるかななどの情報はありますけれども。

委員：悩み相談でも、ここに行けば、同じ子育て中の人と話ができる居場所がありますという感じの情報があると良いのかなと。

委員：子育てに悩んだらというページで、子どもさんたちの悩みについてはここでは、みたいなことが書かれています。

事務局：本当にざっくりまとめると、施策のこともそうですし、市とか都とかでやっている制度のご案内もそうですし、あとは市内にある施設の情報というのを網羅させていただいているので、先ほど言ったように、虐待に困って悩んでいたら例えば子ども家庭支援センターで相談に乗りますよという制度のご案内もされていますし、本当に全て網羅している冊子になっています。

委員：子育て情報はいろいろあると思うのですけれども、その中でそういう子育て中の皆さんが悩んだときはこちらで何でも相談できるし、みたいなところにつながるという感じがいいかなと思います。

会長：何かこの「はじめに」のところでも、「国分寺市で安心して子どもを産み育てる手助けとなるよう、子育て、子どもに関する施策や制度、施設などの情報を掲載したものです」と書いてあります。

委員：子育て情報がいっぱい載っています、みたいな感じで誘導していく。

委員：それだけで十分ですよ。

会長：子育てに役立つ情報がたくさん載っています、と。

委員：悩んだときはのぞいてみてくださいね。など付け加えてみて。私も子育てはしてないのですけれども、1人で悩むお母さんというのは結構いるような気がしますので、やはり周りにも悩んでいる方がいるというのが共有できれば、1人

ではないのだということが知れて安心する部分もあるのかなと。悩んだときはここを見てくださいという感じの書き方とか。

会長：元のだと、「ご自身の健康・元気も大切にしてください」が主になっていますので、そこをいろいろな情報が得られますよということに変えていく。

委員：子育て中のみんなを支える情報が詰まったハンドブックもあります、とか。もしくは、子育ての悩みを解決できる情報が詰まったハンドブックもあります。

委員：ハンドブックと言ってあげると、具体的で分かりやすい気がしますね。もしかしたら、吹き出しのところにハンドブックと書いてもいいかもしれない。

会長：すみません、もう一度先ほどの文言おっしゃっていただいてもいいですか。

委員：子育て中のみんなを支える情報が詰まったハンドブックもあります、か、子育ての悩みを解決できる情報が詰まったハンドブックもあります。の2つ提案させていただきます。

委員：ハンドブックはどんなタイミングで配られるのですか。配られたことがないので。どこかに、いろいろなところに置いてあると聞きますけれども。

委員：妊娠が分かったとか、そういうときに配られますよね。

委員：母子バックみたいなものの中には入っています。

委員：みんなは配られているのだけれども、結局、こういうのは配られても母子バックに入ってしまったら探せないしということで、今回QRコードで再度紹介があるといいなと思います。

会長：どうですか。今の委員のおっしゃっていた文言をうまい具合に調整できますかね。

委員：「子育て中のみなさんへ」と最初にあるので、今おっしゃっていただいた2番目の、悩みを解決できる情報が詰まったハンドブック、という文言で考えるか。

委員：情報として、困ったときだけではなく、広く参照できる子育て情報がすぐ集約されている冊子なので、悩み解決だけよりももう少し、役立つという表現のほうをアピールするのも良いのかもしれませんね。

委員：子育てに役立つ情報が詰まった。

委員：詰まったハンドブックをぜひ御覧くださいとか。

委員：子育てに役立つ情報が詰まったハンドブックがあります。

委員：本当はみんな知っているのだろうけれどもね。

委員：少し文章が長いと思うので、ハンドブックはこちら、とか分からないですけれども、1回切って、ぜひ御覧くださいなのか、ご活用くださいなのか。そんな感じが良いかと思います。

委員：子育てに役立つ情報が詰まったハンドブック、詳細はQRコード、下記をご覧ください。

委員：詳細はこちら。は。

会長：地域のみなさんへでは「詳しい情報はこちら」なので、同じでいいですか。

委員：ハンドブックと言っているのですが、ハンドブックの名前は何かでしたっけ。

会長：ホッとおれんじ。

委員：ああそうか。

会長：ハンドブックというか、子育てガイド。

委員：ガイドブックですね。

会長：子育てガイド。

事務局：正式名称は子育てガイドホッとおれんじ国分寺という名称です。

委員：子育てガイドはこちらとか。

委員：役立つ情報が詰まった子育てガイドはこちら。

委員：ガイドというのは、和製英語ですよ。

委員：子育てに役立つ情報が詰まったガイドブック。

委員：ガイドブックもぜひ御覧ください。

会長：難しいですね。

委員：ぜひ活用してねとか、そういうことですよ。

委員：一文で言い切ってしまうでもいいかもしれないですかね。

会長：子育てに役立つ情報が詰まったガイドブック、で切りますか。

委員：ガイドブックを御覧ください、とか。

会長：ご活用ください。

会長：それでいいですかね。

委員：子育ての悩みや不安を解消するため、まち全体でサポートしています。ガイドブックはこちら。

委員：「役立つ」を入れたい。不安ではなくて。

委員：不安解消だけではなくて、いろいろな、もう少し大きな視点で役立つということをアピールしたい。

委員：悩みとかななくても、子育ての助けになるものは載っていますよということを表現したいです。

委員：いろいろ載っていますよと。

委員：子育てに役立ち、悩みや不安を解消できる……結構長くなってしまふな。

委員：長くなってしまふのですよね。

会長：どうしましょうか。先ほどの「子育てに役立つ情報が詰まったガイドブックをご活用ください」ですね。

委員：というのが1つありますよね。その場合は吹き出しが何になるんですか。

会長：ガイドブックはこちらです。です。

委員：2個になってしまう。

委員：ダウンロードはこちら。とか。

会長：あと、他におっしゃっていたのは。

委員：今言っていたのは、子育ての悩みや不安をという書き出しのもので、役に立つ

というのは入れないものです。不安感を入れている文言です。

会長：で、吹き出しの部分は。

委員：ダウンロードはこちら、がいいのではないかなと思っています。実際、ページもダウンロードしないと見られないので。

委員：なるほど。では、ダウンロードでいい。

委員：ダウンロードはこちらから。とかでもいいですね。

会長：そうすると、結局同じなので全部それでいいような気がしちゃいますよね。

委員：そうか、全部、ダウンロードはこちらで。

委員：一つにその文言を書くと、ほかの情報はダウンロードしなくても見られると勘違いするかもしれない。だから、ここは「役立つ情報はこちら」ぐらいにしておいたほうが良いのではないか。

委員：ダウンロードと書いてしまうと、ダウンロードしなければいけないよ的な、何かネガティブに受け取られてしまうかもしれないので。

委員：「役立つ情報はこちら」にしたら良いと思います。

会長：そうですね。役立つ情報はこちらのほうが良いかもしれませんね。そうしますか。どうですか。

委員：子育てガイドはこちら、はいかがですか。

委員：少し変えてみました。

委員：確かに役立つ情報だと若干抽象的ですよ。

会長：そうすると、真ん中も詳しい情報ではなくて、例えば、居場所情報はこちら。とかにしますか。

委員：居場所情報ですか。

会長：国分寺には子どもの場所がたくさんあります。みんなで支え合っていきましょう。居場所情報。

委員：居場所情報。個人的になのですけれども、居場所情報というと、子どもが誘拐されて、今子どもがどこにいるかとかそういうものを想像してしまいました。ごめんなさいね、これ個人的な考えです。

会長：なるほど。じゃあ、詳しい情報はこちら、にしておきましょう。

では、確認しますね。まず、「子どものみなさんへ」は、「周りのみんながあなたの味方です。困った時などいつでも頼ってくださいね」で、吹き出しのところは「困った時はこちら」。次に「地域のみなさんへ」は、「国分寺には子どもの居場所がたくさんあります。みんなで支え合っていきましょう」、吹き出しは「詳しい情報はこちら」。「子育て中のみなさんへ」は、「子育てに役立つ情報が詰まったガイドブックをご活用ください」で、吹き出しは「子育てガイドはこちら」でよろしいでしょうか。

委員一同：良いです。

会長：はい、決まりました。

委員：あと、青少年問題協議会の紹介部分ですね。検討、討議しますとなっているのですが、検討、討議していますとしたほうがいいのではないですか。今現実に討議していると言ったほうがいいように思います。

会長：ポスター案の一番下の国分寺市青少年問題協議会の紹介をする部分。オレンジの部分ですね。

委員：「検討、討議します」を「しています」に変更。

会長：「しています」ですね。

委員：現状しているわけですから、こう書かれてもいいように思います。

会長：そうですね。文章的にそのほうがいいと思いますが、よろしいですか。

委員：1行目で「に」が抜けていますかね。「国分寺市青少年問題協議会条例に基づき」。

会長：そうですね、「に」です。では、少し読みますね。

会長：国分寺市青少年問題協議会条例に基づき、市の附属機関として設置する。

委員：設置している、かな。

委員：誰がというのが書いていないですね。市が設置する。

会長：市の附属機関として。

委員：設置される協議会ですね。

会長：される、ですね。「市の附属機関として設置される協議会です。委嘱された委員 11 人が2年の任期で青少年の指導、育成、保護及び矯正に関して課題等を検討、討議しています」でよろしいですか。

委員：討議というのは間違っていないのですが若干違和感があって。協議会なので。

会長：協議ですか。

委員：協議だと、何を協議しているのかと思いましたが。協議というと、何かを決めて、何かを答申するみたいな感じのイメージがあるので。

会長：では、討議でよろしいでしょうか。

委員：協議会といっているのに、討議というのは間違っていないのですが、検討という字にまた「討議」なので。

委員：検討を取ってしまっているのではないですか。「課題等を討議しています」とか。

会長：この国分寺市の青少年問題協議会の文言はどこかに出ている文章ですか。

事務局：ここは、一旦前掲載していたものを転記しております。

会長：そうですね。前回は、市の附属機関として設置する協議会です。一番最後も、検討、討議します、になっています。

委員：一緒ですね。

事務局：前回の会議ではレイアウトについて主に議論されていて、また協議会のこの辺も考えましょうということだったので、今回の案ではデザインのイメージを持ってもらうためにダミーで前回の文字をそのまま入れてあります。

会 長：申し訳ないのですけれども、実は前回、ここの文章は特に何も意見がなかった
ので、だから、討議していないのです。

委 員：よりよくしたほうがいいですね。

会 長：そうですね。

事 務 局：地方青少年問題協議会法では、こんな事務をつかさどるところが記載さ
れているのですけれども、その締めくくりのところは「重要事項を調査、審議
すること」、あとは、「必要な関係行政機関相互の連絡、調整を図ること」、
そのような文言が記載されていて、一般の人が聞いたときに、なじみがあまり
ないような言葉というか、イメージしづらいかもしれないなというところはあ
ります。

委 員：今思ったのですけれども、すみません、少し話が戻るかもしれないですけど、
青少年の指導、育成、保護及び矯正というのが、一番は支援なのかなという気
がしていて。

事 務 局：この文言についても、地方青少年問題協議会法に、今、飛ばしてしまったので
すが、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の充実につき必
要な重要事項を調査、審議するためにこの協議会が設置されていると書かれて
います。

委 員：そうなっているのですね。

会 長：元がそうなっていますが、どうですか。

委 員：別にそこまでこだわりはないのですけれども。

会 長：では、討議のままでよろしいですかね。あとは文言の修正が少しありましたの
で、もう1回読みますね。「国分寺市青少年問題協議会条例に基づき、市の附
属機関として設置される協議会です。委嘱された委員11人が、2年の任期で
青少年の指導、育成、保護及び矯正に関して課題等を検討、討議しています」
です。では、これをお願いします。

それとあと、右側の「地域でやさしく育てよう子どもの心」の部分は、これ
も昨年のもので、ここに今期の協議会としての意見とといいますか、この
テーマに沿って何か一言入れたいと思います。どんなメッセージが良いでしょ
うか。

委 員：前回の会議のときに何か作ったのでしたか。

会 長：いや、特にそこまで具体的な文言までは決められず、メッセージを入れましょ
うというので終わっています。

委 員：すみません、1点質問です。この最後の「詳しい情報はこちら」のQRは、青
少年問題協議会の紹介ページにつながるということでしょうか。

事 務 局：そうです。この協議会の議事録などを載せているページがありますので、そち
らのページにつながります。

委 員：細かいのですけれども、この指のイラストはなくてもいいと思う。ほかのQRの

ところも入れていないので、指のイラストはなくてもいいかもしれないです。

- 会長：詳しい情報はこちら、という文言は。
- 委員：それはあったほうが良いと思います。
- 委員：青少年問題協議会についてというのをに入れておいたほうが良いかもしれない。
- 会長：そうですね。いっぱいQRコードが並んでいるから何のQRコードかわかりづらいですからね。
- 委員：青少年問題協議会について、にしますか。
- 会長：では、メッセージを考えたいと思います。今まで話し合ってきた中で、こういうことを入れたいなというのはありますか。
- 委員：1つは、キャッチコピーにも入っていますけれども、みんなで支えていきましょう、みたいな締めくくりが良いのかなという気はします。
- 委員：やはり子育てには地域が大事だよねというようなことが入ればいいかなと思います。そういうことをみんなで話し合ってきて、こういうポスターになったと思うので。
- 委員：ほかには、住みやすい国分寺をつくりましょうという感じの言葉とか。市の話になってしまうのですが、子育てしやすいとか、子どもが住みつくとか、子育てを支援する国分寺を作りましょうという感じはどうでしょうか。私たちだけが作るわけではないのですが、そういう街を目指しましょうというような内容を。
- 委員：子ども中心というキーワードを何か入れたいなというのはありますか。やさしいまちづくりという言葉も大事ですが、やはり子どもにとって何が一番か。子ども主体に考えられるような地域、周りで支える地域社会を組み合わせられるといいかなというのは思いました。子ども参加がこれから少しずつ発展していくのかなと思いますが、少しそこまで突っ込むと、少し先に行き過ぎかなと思いますので。
- 委員：具体的な文章の案を言ってみてもいいですか。
- 会長：いつも具体的な提案を出していただけて助かります。お願いします。
- 委員：今期は「地域でやさしく育てよう子どもの心」をテーマに専門家のお話を聞き、協議を重ねてきました。その成果として、地域のみんなで子どもと子育て中の方を支えていける国分寺であるべきとし、このポスターを作成しました。
- 会長：なるほど。いかがでしょうか。
- 委員：いいですね。必要不可欠なメッセージが入っている感じがします。
- 会長：そうですね。
- 委員：あとは、先ほどの子ども主体とか、子育てしやすいみたいなのところを入れるかどうか。地域のみんなでというのをどうするかですかね。
- 委員：それぞれ子ども、地域、子育て中の方には上の枠の中でそれぞれメッセージが書いてあるので、この下のところは、我々の活動の結果として今の委員が言わ

れた、このポスターを作りましたという内容のことを書くということで、青少年問題協議会の思いを入れるところの気がします。

会 長：そうですね。では、すみません、もう一度お願いいたします。

委 員：それかもっと提言っぽい感じのほうがいいですかね。

会 長：いや、さっきの感じがいいと思います。

委 員：いいですかね。

委 員：さっきの感じでいいと思います。

委 員：今期は「地域でやさしく育てよう子どもの心」をテーマに専門家のお話を聞き、協議を重ねてきました。その成果として、地域のみんなで子どもと子育て中の方を支えていける国分寺であるべきとし、このポスターを作成しました。

会 長：よろしいでしょうか。事務局の方も大丈夫でしょうか。

事 務 局：大丈夫です。

会 長：では、このメッセージをポスターの一番下に入れていただいて、一応ポスターを修正したものをもう一度、すみません見せていただければと思います。よろしくお願いいたします。

事 務 局：はい。今、頂いたご意見をふまえて、資料1を中心に、字体の変更であったりイラストのバランスであったりを修正します。そして、選択肢が多すぎてもまた選ぶのに時間がかかったり大変だと思いますので、事務局で作成する中で良さそうなものを幾つか絞らせていただいて、今回と同様に3つぐらいのパターンまでに絞ったほうがいいかなと思っています。その中から、最後皆様に選んでいただくような形でよろしいでしょうか。よろしく申し上げます。

会 長：分かりました。ありがとうございます。いいポスターができるのではないかなと思って、楽しみにしております。ありがとうございます。

事 務 局：あとは、前回の会議でポスターの大きさとか枚数のお話があったかと思いますが。こちらについて、最終確定は今年度の予算目途がもう少し具体的についてからとなりますが、一応、A2サイズのカラー印刷。それであれば、白色のコート紙で、50枚程度印刷依頼できるのではないかと予想しています。あとはA2サイズの大きなポスターを張れない施設とかもあるかと思っていますので、A3でも印刷できるように用紙を購入して、A2版1枚とA3版数枚の両方を配布できればと考えています。そのような方法でよろしいでしょうか。

会 長：はい。

事 務 局：A2については、最終的な予算の中で使える額によりますので、現時点の見込みでは50枚程度かなというところですが、まだ確定数ではないので、多く作成できれば1枚を2枚に増やすなどしていければと思います。

会 長：分かりました。ありがとうございます。

事 務 局：最後、事務報告だけよろしいですか。

会 長：お願いします。

事務局：開催通知の際に、前回の議事録をお配りされていると思います。修正のご連絡は、現時点では特段ありませんでしたが、あのまま確定という形でよろしいでしょうか。（委員一同、了承）では、議事録のほうを確定させていただきます。

次回の協議会につきましては、11月25日金曜日。ここが最後になります。また3案程度お示しさせていただいて、最終決定していただければと思います。時間は同じく午後2時から4時、こちらの書庫棟会議室となっておりますので、よろしく願いいたします。以上です。

会長：ありがとうございます。次回でこの協議会は最後になってしまいますので、名残惜しい感じですが、よいポスターができたのを見届けて、この協議会が終わることになると思います。ありがとうございます。

——了——